

埼玉県生協連メールマガジン Information

2020.7 発行

2020 年度 4 月より、埼玉県生協連および会員生協の取り組みと
埼玉県生協連の月度のまとめを、月 1 回 PDF 配信しています。
ぜひご覧ください。

| | |
|-------------------------|-------|
| 目次：埼玉県生協連 6 月度まとめと今後の課題 | P1-6 |
| 会員生協の取り組み | P7-12 |

埼玉県生協連 6 月度まとめと今後の課題

2020 年 7 月 8 日

埼玉県生協連専務理事 吉川尚彦

1. 全体状況

(1) 第 49 回通常総会

6 月 18 日(木)、第 49 回通常総会を開催し、すべての議案が賛成多数で承認可決されました。今回の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催時間の短縮および書面での出席を基本とするなど、出席者の安全確保を優先した運営を行いました(別紙 1 参照)。

(2) 第 1 回理事会

6 月 18 日(木)、第 49 回通常総会終了後、第 1 回理事会が開催されました。2020 年度役員報酬の件と、医療生協さいたまへの応援メッセージと医療物資支援の取り組みの件の 2 つの議決を行いました。

(3) 第 17 回通常総会(埼玉消費者被害をなくす会)

6 月 23 日(火)、規模を縮小し、短時間で開催し、すべての議案が賛成多数で承認可決されました(別紙 2 参照)。

(4) 埼玉県から適格消費者団体への委託事業(埼玉消費者被害をなくす会)

埼玉県からの委託事業は「高齢者等見守り促進事業」「インターネット適正広告推進事業」を受託しました。「消費者被害防止サポータ推進事業」は、受託して事業を進める体制や、今後の新型コロナウイルスの影響を考慮しつつ、引き続き県と活動内容について検討を進めます。

(5) 広報・コミュニケーション

2020 年度版「埼玉の生協」を作成しました。今後、会員生協や都道府県生協連、自治体などに 7 月上旬に発送する予定です。一方、7 月 10 日発行予定だった写真ニュース夏号については発行を取りやめました。新聞掲載は、6 月 26 日(金)の埼玉新聞に第 49 回通常総会の記事が掲載されました。

2. 分野の取り組み状況

(1) 関東農政局との意見交換会について、3 月に開催する予定だった「ゲノム編集」をテーマに、10 月開催に向けて調整を進めています。

(2) 5 月 8 日(金)、埼玉平和・市民 5 団体懇談会が開催され、第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 1 回実行委員会での意見を踏まえの実施概要について話し合いをおこないました。その後開催した第 2 回実行委員会において、7 月 26 日(日)10 時~11 時で開催、会場を埼玉会館小ホール、開催規模をおおむね 50 人とすることを確認し、準備を開始しました。

(3) 第 56 回埼玉県消費者大会第 3 回実行委員会を実開催し(第 1 回と第 2 回は書面による持ち回り開催)、16 団体 23 人(うち 2 人がオンライン)が出席し、運営体制や全体会のための開催について、記念講演のテーマについてなど話し合いました。

① 埼玉消費者被害をなくす会の取り組みでは、給与ファクタリング事業者「株式会社 ZERUTA」に対して、なくす会として初めての共通義務確認訴訟を 6 月 8 日に提起し、同日に記者会見を行いました(別紙 3 参照)。

差止請求訴訟差止請求 0 件(累計 1 件)、申入れ 0 件(累計 4 件)、お問合せ対応は 2 件(累計 14 件)、被害回復の取り組みは、訴訟 1 件、申入れ 0 件(累計 0 件)、お問合せ 0 件(累計 4 件)です。活動委員会は 6 月 5 日、実参加で開催しました。

3. 行政・諸団体との連携・ネットワーク

(1) 行政

- ① 埼玉県消費生活協同組合役職員等研修委託事業の委託に向けて、見積書を提出しました。今後、契約を結び7月中旬から2021年2月末日までの期間で事業を実施する予定です。
- ② 埼玉県が設置した「彩の国『新しい生活様式』評議会」に、引き続き代表幹事が出席し、第9回まで書面で意見を提出しました。

(2) 埼玉消団連

- ① 6月度消団連幹事会を実開催し、書面で行なった4月度、5月度の議題を含めて話し合い、確認しました。

(3) 諸団体

- ① 6月17日(水)、NPO法人フードバンク埼玉事務局会が開催され、当面の課題と各団体の状況などについて共有しました。
- ② 6月25日(木)、埼玉婦人問題会議全体会が開催され、50周年に向けて「婦人」のついた名称を改める検討を開始します。

4. 今後の課題

- ・引き続き、企画開催の可否等の対応、また不測の事態に備えた事業継続のための準備を進めます。
- ・機関運営では、引き続きオンラインの活用などを進め、新しい生活様式に対応する開催を進めます。
- ・写真ニュース秋号(10月10日発行)に向けて、掲載案件を事前に集約します。
- ・埼玉県との第1回定期協議を7月30日(木)15時より行い、新型コロナウイルス対策および、2021年度における埼玉県予算編成ならびに行政執行に関する要望を提出するとともに、懇談を行います。
- ・医療生協さいたまへの応援メッセージと医療物資支援の準備を進めます。
- ・第35回埼玉県原爆死没者慰霊式の実務の明確化を進め、実行委員会団体にスタッフ要請を行います。また、式典のライブ配信を実施するための準備を行います。
- ・8月開催の第1回組合員学習会以降の学習会や研修会等のオンライン参加やライブ配信・開催後の配信など具体化をすすめます。
- ・埼玉県と埼玉消費者被害をなくす会の第1回定期協議会の開催準備を行います。
- ・関東農政局との意見交換会について、10月30日開催に向けて調整をすすめ、確定し次第、参加をよびかけます。
- ・第56回埼玉県消費者大会のチラシ(事前予告)を配布し、広く参加をよびかけます。広報にご協力ください。
- ・第56回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉消団連による「市町村における消費生活関連事業調査」を作成、発送します。

【現在、開催を予定している会議など】

※ただし、三密(密閉・密集・密接)状態の回避のための措置を条件とし、参加人数制限や、直前での中止判断有。

| | 名称・会場・定員 | 開催日 | 対応 |
|---|-----------------------------|---------------------------|--------------------------------|
| 1 | 第56回埼玉県消費者大会 第4回実行委員会 | 7月14日(火) 13時30分～15時30分 | 浦和コミュニティセンター第13 集会室 Web参加可能 |
| 2 | 第35回埼玉県原爆死没者慰霊式 第3回実行委員会 | 7月15日(水) 15時00分～16時00分 | 埼玉県生協連コミュニティルーム (1階会議室) |
| 3 | 第35回埼玉県原爆死没者慰霊式 | 7月26日(日) 10時00分～11時00分 | 埼玉会館小ホール 式典のライブ配信を予定 |

埼玉県生活協同組合連合会 第 49 回通常総会報告

2020 年 6 月 18 日 埼玉県生活協同組合連合会

6 月 18 日(木)15 時 00 分より、コープみらい コーププラザ浦和(さいたま市南区)において、埼玉県生活協同組合連合会第 49 回通常総会を開催しました。今回の通常総会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、開催時間の短縮および書面での出席を基本とするなど、出席者の安全確保を優先した運営を行い、代議員定数 43 人中、43 人(実出席 7 人、書面出席 36 人、委任 0 人)が出席しました。



吉川尚彦会長理事より、2019 年度事業活動報告や 2020 年度事業活動計画、諸規約の一部変更など 6 つの議案が提案され、議案討議では 3 人の代議員から、外出できない中での組合員活動のあり方や地域での連携やネットワークづくりの推進、さらなる生協の役割発揮などについて書面発言がありました。また、この間大学での授業が行われていない中で、事業が大変厳しい状況にある大学生協の現状について、河本理事から特別発言がありました。これらの発言を受け、吉川会長理事が議案討議のまとめをおこないました。



その後、第 1 号議案から第 6 号議案の採決をおこない、すべての議案が賛成多数で承認可決されました。

| | |
|---------|-------------------------------|
| 第 1 号議案 | 2019 年度事業活動報告、決算報告、剰余金処分案決定の件 |
| 第 2 号議案 | 2020 年度事業活動計画・予算決定の件 |
| 第 3 号議案 | 諸規約の一部変更の件 |
| 第 4 号議案 | 監事監査規則の一部変更の件 |
| 第 5 号議案 | 役員補充選任の件 |
| 第 6 号議案 | 役員報酬額決定の件 |

なお、来賓のごあいさつは書面でお願ひし、埼玉県知事 大野元裕様、埼玉県農業協同組合中央会 若林龍司様、埼玉県地域婦人会連合会 柿沼トミ子様よりメッセージをいただきました。

※第 49 回通常総会の総会運営役員は次の通りです。

| | |
|--------|---|
| 議長 | 福岡明議員(パルシステム埼玉) |
| 議事運営委員 | 長谷川悟代議員(コープみらい)、望月亜紀子代議員(生活クラブ生協) 齊藤民紀常務理事 |
| 書記 | 清水勤(埼玉県生協連事務局) |

適格消費者団体・特定適格消費者団体

特定非営利活動法人 埼玉消費者被害をなくす会第17回通常総会報告

2020年6月23日

6月23日(火)10時より、埼玉会館3C会議室にて第17回通常総会を開催しました。今年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため規模を大幅に縮小し、正会員の皆様には書面または委任状での議決参加をお願いしました。当日は、理事・監事(団体・個人正会員兼任を含む)・事務局等計15名が出席しました。理事会から推薦された事務局の司会で開会し、議長に個人正会員の満尾直樹さんを選任しました。議事録署名人に個人正会員の古久根章典さん、加藤一彦さんを選任、書記に事務局田中を任命しました。※表決権総数124個中、実出席14個、委任4個、書面93個 計111個(採決時)



池本理事長

会を代表し池本誠司理事長から「なくす会がこれまで行ってきた、集まって議論することでエネルギーを蓄えて活動するということが難しくなっていますが、一方で新型コロナウイルスに関連する新卒の消費者被害が増えています。昨年の1年間で3,100件だった、いわゆる送り付け商法に関する相談は、4月1日から6月22日までで3,340件と、すでに昨年の1年間分を超えています。マスクの送り付けが多いようです。しっかりと情報を伝えるなど、民間の創意工夫が求められています。また、今年度行なった被害回復訴訟は、早いスピードで進んで行くと思われます。活動委員会も新しい形を見つけて活動していただきたいと思います。」との挨拶がありました。

来賓挨拶 埼玉県県民生活部消費生活課 課長の関口修宏様からメッセージで「昨年度県内の消費生活相談窓口に寄せられた相談は約5万4千件で、特に高齢者からの相談が増加、相談全体の4割近くを占めています。悪質事業者は絶対に許さないという姿勢で、昨年度も4事業者に対し15件の処分を行ないました。被害の未然防止のためには市町村における見守り体制が不可欠です。消費者被害防止サポーターと消費者安全確保地域協議会の連携を図り、消費者被害の防止を図ってまいりたいと考えています」との挨拶を頂戴しました。

議案審議 議長より表決権数を満たし本総会が成立していることが報告された後、吉川尚彦専務理事より第1号議案「2019年度事業報告、活動決算」、第2号議案「役員選任」の提案、関口多恵子監事から監査報告を行いました。質疑応答及び事前に受けた質問に対する回答説明の後、各議案について採決を行ない、第1号議案、第2号議案は賛成多数で承認されました。

報告事項 第1回理事会を開催後、理事会にて専務理事に互選された吉川専務理事より「2020年度の事業計画と活動予算」を報告、2020年度の理事会体制、検討委員、活動委員を紹介しました。

閉会挨拶 長田副理事長より「なくす会は受託事業を含め活動範囲が広くなり、頑張っている団体だということを改めて認識できました。6月、なくす会として初の共通義務確認訴訟を提起しました。課題はたくさんありますが、この状況で顔を合わせての活動が難しくなっていますが、それぞれの立場でそれぞれの現場で力を合わせていきましょう。」と挨拶があり、閉会しました。



採決の様子

※今年度、記念講演は行いませんでした

2020 年度 埼玉県生協連 日誌と予定

| 2020 年 6 月 | |
|------------|--|
| 1 | 中央地連 MCA 無線訓練 第 5 回彩の国「新しい生活様式」評議会(書面) |
| 3 | 全国消費者団体連絡会福島処理水 Web 学習会 |
| 4 | 第 6 回活動委員会 第 6 回彩の国「新しい生活様式」評議会(書面) |
| 5 | 埼玉消費者被害をなくす会第 8 回活動委員会 |
| 8 | 埼玉消費者被害をなくす会記者会見 埼玉平和・市民 5 団体懇談会 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 2 回実行委員会 |
| 10 | 埼玉県消費者団体連絡会 6 月度幹事会 第 7 回彩の国「新しい生活様式」評議会(書面) |
| 12 | 日本生活協同組合連合会第 70 回通常総会(書面) 地方消費者行政プロジェクト(オンライン) |
| 13 | 埼玉自然エネルギー協会第 8 回総会・講演会 |
| 15 | 埼玉母親大会連絡会常任委員会 |
| 16 | 埼玉県労働者福祉協議会第 3 回理事会 |
| 17 | 第 8 回彩の国「新しい生活様式」評議会(書面) フードバンク埼玉第 1 回事務局会議 |
| 18 | 埼玉県生活協同組合連合会第 49 回通常総会 第 1 回理事会 |
| 19 | 全国消費者団体連絡会第 1 回理事会(オンライン) |
| 23 | 埼玉消費者被害をなくす会第 17 回通常総会・第 1 回理事会 埼玉消費者被害をなくす会講座支援チーム会 |
| 24 | 中央労働金庫総会(書面) |
| 25 | 第 56 回埼玉県消費者大会第 3 回実行委員会 埼玉県婦人問題会議全体会 |
| 26 | 埼玉消費者被害をなくす会 6 月検討委員会 第 9 回彩の国「新しい生活様式」評議会(書面) |
| 2020 年 7 月 | |
| 1 | 埼玉消費者被害をなくす会 2020 年度活動委員説明会 |
| 2 | 第 1 回常務理事会 全国組合員活動交流会(オンライン) |
| 3 | 埼玉県労働者福祉協議会企画委員会 |
| 7 | 第 1 回監事会 |
| 8 | フードバンク埼玉第 1 回理事会・運営委員会 埼玉消費者被害をなくす会第 1 回活動委員会 |
| 9 | 埼玉県労働者福祉協議会第 4 回理事会 |
| 10 | 埼玉県消費者団体連絡会 7 月度幹事会 |
| 13 | 埼玉母親大会連絡会常任委員会 |
| 14 | 第 56 回埼玉県消費者大会第 4 回実行委員会 |
| 15 | 埼玉平和・市民 5 団体懇談会 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式第 3 回実行委員会 |
| 16 | 第 2 回理事会 |
| 17 | 埼玉消費者被害をなくす会第 2 回理事会・7 月検討委員会 |
| 20 | 埼玉県と埼玉消費者被害をなくす会との定期協議会 |
| 21 | 中央地連第 1 回運営委員会(オンライン) |

| | |
|----|--------------------------|
| | 第 1 回県連活動推進会議（オンライン） |
| 26 | 第 35 回埼玉県原爆死没者慰霊式（ライブ配信） |
| | 平和のための埼玉の戦争展 |
| 30 | 第 1 回埼玉県と埼玉県生協連との定期協議 |

コープみらい

学校給食で使われる予定だったにんじんを店舗で販売

2020 年 6 月 16 日

学校給食で使用する予定だった千葉県産のにんじんをコープみらいの一部の店舗で、6 月 9 日に引き続き、16 日にも販売しました。新型コロナウイルス感染拡大に伴って学校が休校となり、産地からの要請を受けて今回の販売が実現しました。

販売を行った店舗の一つであるコープみらいコープ鎌ヶ谷店では、店頭に並んだにんじんは、飛ぶように売れていました。購入した組合員から、「学校給食用の野菜が余っているとニュースで聞き、気になっていた。こうやって（ポップなどで）わかるようにしてくれているので、買いやすいし、お買い得なので消費者としてもありがたい」と感想をいただきました。

コープみらいは引き続き、産地応援を行っていきます。



パルシステム埼玉

消費者支援功労者表彰（ベストサポーター章）を受章

パルシステム埼玉は、消費者支援功労者表彰（ベストサポーター章）を受章しました。

本表彰は、消費者庁より消費者利益の擁護・増進のために各方面で活躍している個人・団体を表彰する制度として昭和 60 年から実施しており、今年で第 36 回目となります。

パルシステム埼玉は、組合員が担うライフプラン・アドバイザー（LPA）による、スマートフォンの契約、SDGs など消費者に関わる課題についての学習会や、「くらしの相談ダイヤル」を活用した暮らしの中での困りごとについて、消費生活アドバイザーや弁護士などが電話で相談を受ける体制を整備したことが評価されました。

今後もより一層、消費者が安心して安全な消費生活が送れるよう、地域に根差した生協を目指してまいります。



「生活クラブ 福祉活動緊急助成 2020」 選考結果報告

この助成は、生活クラブ生協埼玉の組合員が毎月負担する会費の中から積み立てた「地域福祉のための基金（エコロ基金）」を原資として実施しました。

1. 目 的

COVID-19 対策としての自粛要請・緊急事態宣言により社会・経済活動が停滞することで、困難を抱える人への支援が滞り孤立と貧困が加速しています。このような情勢のなかで、私たち、生活協同組合が社会的に果たす役割の一つとして、社会的弱者への支援活動を行っている市民活動団体への緊急助成を行いました。

2. 助成する活動

- ①子ども食堂・地域食堂等による食支援活動
- ②生活困窮者等への食糧支援（フードバンク、フードパントリー等を含む）
- ③居場所事業を運営する団体が行う、緊急性の高い支援活動
- ④無料・低額の学習支援（オンライン学習含む）
- ⑤子どもを持つ親及び養育者を対象とした相談活動
- ⑥休業要請等によって経済的に困難な状況になった方への支援活動
- ⑦児童虐待・DV等、外出自粛によるストレス等による課題の支援活動

※選考会 6 月 14 日（日）応募総数 32 団体、助成総数 21 団体、助成額 11,899,500 円

福祉活動緊急助成2020 選考結果

| ブロック | 団体・個人・グループ名 | 決定額 | 活動分類番号 |
|------|--------------------------|-----------|--------|
| 狭山 | のびっこ園 | 431,000 | ③④⑤ |
| 狭山 | NPO法人こっこの会 | 300,000 | ③④⑤⑥⑦ |
| 狭山 | フードバンクいるま | 300,000 | ② |
| 所沢 | NPO法人フードバンクネット西埼玉 | 1,000,000 | ①② |
| 所沢 | NPO法人サマリア | 1,000,000 | ③⑥ |
| 川口 | NPO法人こどもの居場所づくり in かわぐち | 720,000 | ②⑤⑥ |
| 川口 | NPO法人さいたまユースサポートネット | 992,000 | ②③④⑦ |
| 川口 | 一般社団法人青少年自助自立支援機構 コンパスナビ | 730,000 | ③④⑤ |
| 川口 | NPO法人チアーズ | 1,000,000 | ①②⑤⑥ |
| 川口 | 就労継続支援B型事業所 パンラッコ | 300,000 | ⑥ |
| 川口 | NPO法人無料塾ひこぎ | 211,000 | ④ |
| 越谷 | NPO法人越谷らるご | 980,000 | ③ |
| 越谷 | NPO法人青いそら | 300,000 | ③ |
| 越谷 | ふくろう子ども食堂 | 300,000 | ② |
| 大宮 | NPO法人village | 275,500 | ④⑦ |
| 熊谷 | 一般社団法人Moonlight Project | 860,000 | ①③④⑦ |
| 熊谷 | NPO法人こうさてん | 1,000,000 | ①②③⑤⑥⑦ |
| 熊谷 | NPO法人てとて | 300,000 | ①②③ |
| 熊谷 | 一般社団法人グリーンノート | 300,000 | ⑤⑦ |
| 熊谷 | NPO法人東松山子育てねっと | 300,000 | ③④⑦ |
| 熊谷 | NPO法人チーム東松山 | 300,000 | ②⑤ |

生活協同組合コープみらい 第8回通常総代会

6月11日（木）、第8回通常総代会をコーププラザ浦和（さいたま市南区）で開催し、

第1号議案「2019年度事業報告承認の件」

第2号議案「2020年度事業計画・予算設定の件」

第3号議案「定款の一部変更の件」

第4号議案「役員選任規約の一部変更の件」

以上、4つの議案すべてが承認可決されました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大の防止と総代の安全を最優先し、書面出席を基本に（総代定数1,289人中1,250人出席＝本人出席11人、書面出席1,239人、代理人0人）、時間を短縮して開催しました。冒頭の新井ちとせ理事長のあいさつに続き、熊崎伸専務理事がスライド上映を交えながら議案を提案。総代の発言については、事前にいただいた「私からコープみらいへのメッセージ」の中から6人の発言を録音による代読で紹介し、熊崎専務理事がまとめの報告を行いました。その後各議案の採決を行いました。

コープみらいは助け合いの組織として、SDGs および、ビジョン2025「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」の実現を目指し、組合員の皆さまの暮らしにお役立ちできるよう、事業と活動に取り組んでまいります



生活協同組合パルシステム埼玉 第27回通常総代会

6月10日（水）、パルシステム埼玉はパレスホテル大宮（さいたま市）で、第27回通常総代会を開催しました。新型コロナウイルス感染症予防の対策として規模を大幅に縮小して開催しました。

当日は、総代総数366名に対して344名（本人出席12名、書面出席332名、委任出席0名）の総代が出席し、6つの議案について提案の上、全て賛成多数で承認されました。

*全3回の資格審査より、出席人数は最大値（10時00分時点）を記載しております。

第1号議案「2019年度事業活動報告・決算及び剰余金処分案承認の件（監査報告）」

第2号議案「2020年度事業活動方針・予算決定の件」

第3号議案「役員報酬限度額決定の件」

第4号議案「定款改定の件」

第5号議案「役員選挙規約改定の件」

第6号議案「監事監査規約改定の件」



生活クラブ生活協同組合 第 46 回通常総代会

6月16日（火）、埼玉県県民健康センター（大ホール）において、第46回通常総代会を開催しました。今年は新型コロナウイルスの影響により、時間短縮、書面議決推奨といった対応で、総代会総代定数250名中、当日出席者8名、代理人1名、書面議決230名、合計239名の総代の総意で採択しました。

開催にあたり、木下理事長から「新型コロナウイルス感染拡大が広がる3月においてデポー浦和が無事オープンできたことはとても自信に繋がったと思います。今後もこの混迷が続くと思われますが、コロナ共生社会の中でも人任せにせず、これまで培った食の価値を広げ、今まで以上に環境負荷を減らし、経済不安が増す状況下でも自分たちの暮らしをおおぜいの仲間と共にたすけあい支えあい、新しい未来をつくっていきましょう」との挨拶がありました。

全議案が審議を経て、賛成多数により可決されました。その中で「拠点活動」についての意見が交わされ、地域の組合員の声を取り入れながら意見交換を行ない、地域ごとの様々な課題に対して取り組んでいくことが確認され



ました。役員体制では総代会後の臨時理事会において、理事長に木下美由紀、副理事長に石井清美、専務理事に須長雅和（新任）、常務理事に渋谷豊人（新任）が選任されました。

埼玉県勤労者生活協同組合 第 66 回通常総代会

6月29日（月）、川口駅前市民ホール「フレンジーア」において、第66回通常総代会が開催されました。総代定数105人中103人（実出席20、委任1、書面82）が出席しました。

関根理事長からは、『新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から会場の席の間隔を空け、出席者も減らしての開催といたしました。埼玉生協の66年の歴史を振り返ると、日本経済が大変厳しい戦い競争の中、一生懸命事業活動を進めてきた結果、歩んで来ることが出来た66年だと思います。支えていただいた多くの組合員の皆さん、労働組合の皆さんに改めて感謝を申し上げます。このような状況の中でも住宅事業を中心に、高齢化が進む地域の中で、安心した暮らしを支えていくための支援と、安否確認や見守り活動、そして高齢者や若者の関係なくお互いを助け合う相互扶助の活動に取り組んで参りました。今後も住宅事業と共済事業に特化し、組合員の皆様の協力のもと、邁進して参ります。（一部抜粋）』との挨拶がありました。資格審査報告の後、議事に移り、第1号議案から第6号議案までが提案・審議され質疑応答の結果、全ての議案について賛成多数で可決承認されました。



さいたま住宅生活協同組合 第29回通常総代会

6月27日（土）、さいたま共済会館において、総代定数109人中、103人（21人実出席、委任出席1人、書面議決81人）の出席で開催され、提案された全3議案全てが原案のとおり可決されました。

新型コロナウイルスの感染拡大防止の観点から開催時間の短縮、書面出席をお願いするなど、出席者の安全確保を優先した運営を行いました。

住宅生協の2019年度の事業状況の特徴は、経済状況が低迷する中でも4年連続で増収増益を達成し、単年度で見ても対前年度比110%と大きく事業を伸ばしました。

そうした状況を踏まえて、3名の総代から発言がありました。いずれの発言も「組合員から喜ばれる仕事を通じて組合員の「信頼」が生まれ次の仕事につながっていく」「これから



も住宅生協の信頼を得るために協力業者も一層努力を重ねていく」ことなどが生き生きと報告されました。

新年度に入り、新型コロナウイルスの感染拡大が止まらず事業高も対前年度比40%と厳しい経済状況の中でも、組合員の信頼に応え歩み続けられる住宅生協の確立を目指していくことなどを確認しました。

コープデリ生活協同組合連合会 第29回通常総会

6月20日（土）、第29回通常総会をコープデリ連合会本部（さいたま市南区）で開催し、

- ・第1号議案「2019年度事業報告承認の件」
- ・第2号議案「2020年度事業計画・予算設定の件」

- ・第3号議案「役員選任の件」
- ・第4号議案「役員選任規約の一部変更の件」

以上、4つの議案すべてが承認可決されました。

今回は新型コロナウイルス感染拡大の防止を最優先に、代議員は書面出席を基本（代議員定数64人中64人出席＝本人出席5人、書面出席59人）に、議事を進行しました。

冒頭の土屋敏夫理事長のあいさつに続き、熊崎伸専務理事が議案を提案。代議員からの発言は事前資料として配布し、熊崎専務理事がまとめの報告を行いました。その後各議案の採決を行いました。

コープデリ連合会は、会員生協とともに組合員の皆様のくらしに寄り添い「食卓を笑顔に、地域を豊かに、誰からも頼られる生協へ。」の実現に向け、コープのファンづくりをさらに進めます。安心してくらせる地域社会づくりに積極的に参加し、地域になくてはならない存在となれるよう取り組んでまいります。



大東文化学園生活協同組合 第33回通常総代会

6月25日（木）15時00分から、大東文化大学板橋キャンパス食堂にて開催しました。今回は新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、最少人数の出席での開催となりました。総代定数104名中 79名（実出席 3名、書面議決76名）が出席しました。開会宣言の後、総代より議長を選出しました。

理事会より第一号議案から第六号議案まで、一括して提案されました。第一号議案「2019年度事業報告書及び決算関係書類承認の件」、第二号議案「2020年度事業計画及び予算決定の件」、第三号議案「定款の一部改正の件」、第四号議案「役員選挙規約一部改正の件」、第五号議案「役員報酬決定の件」、第六号議案「議案決議効力発行の件」、を山田順一専務理事が一括提案しました。今回はほぼ書面議決となり、各議案共、過半数以上の賛成で可決承認されました。

最後に「2020年度役員選挙」を行い、立候補した理事19名監事4名全員の当選が確認されました。

総代会終了後、第1回理事会及び監事会をオンラインで開催し、下記が可決承認されました。

代表理事 理事長 山口 志保
（法学部教員・重任）

代表理事 専務理事 山田 順一
（専従・重任）



東都生活協同組合 第46回通常総代会

6月18日（木）10時より、ハイアットリージェンシー東京（新宿区）にて、総代定数600人中592人（本人出席：39人、代理人出席：1人、書面出席：552人）の出席で開催されました。

今回の総代会は新型コロナウイルス感染症の拡大を防止するため、できる限りの感染防止対策を講じた上で開催しました。

風間与司治理事長の開会あいさつに続き、野地浩和専務理事が議案を一括提案。監事からは監査報告がされました。審議では出席総代2人が発言しました。次に採決が行われ、6つの全議案が可決しました。

世界的な新型コロナウイルス感染拡大は食料・物資の安定供給や消費行動に甚大な影響を及ぼし、輸入に大きく依存するくらしの在り方があらためて問われています。こうした中、あらためて東都生協ならではの安全・安心、産直・国産、産地・メーカー交流、食と農から持続可能な社会づくりなど、組合員の期待に応える活動・事業を進めてまいります。

